

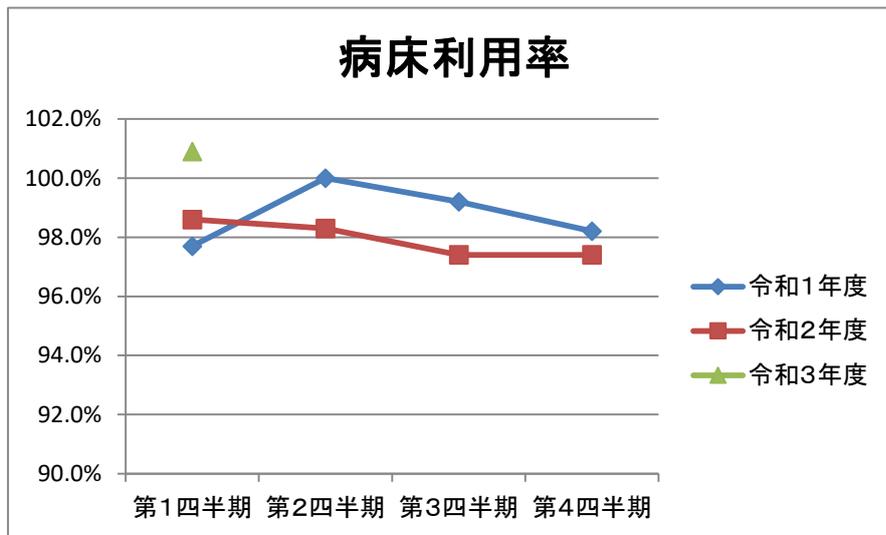
## 12. 病床利用率(障害者施設等病棟)

病床利用率とは、運用している入院ベッド数のうち、入院患者さんがどのくらい入院しているかを示す指標です。

病床利用率が高いことは、可能な限り多くの入院患者さんを効率的に診ていることを表しています。

$$\text{式) 病床利用率} = \text{在院患者延べ数} \div (\text{日数} \times \text{病床数}) \times 100 (\%)$$

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年間
令和1年度	97.7%	100.0%	99.2%	98.2%	98.8%
令和2年度	98.6%	98.3%	97.4%	97.4%	97.9%
令和3年度	100.9%				

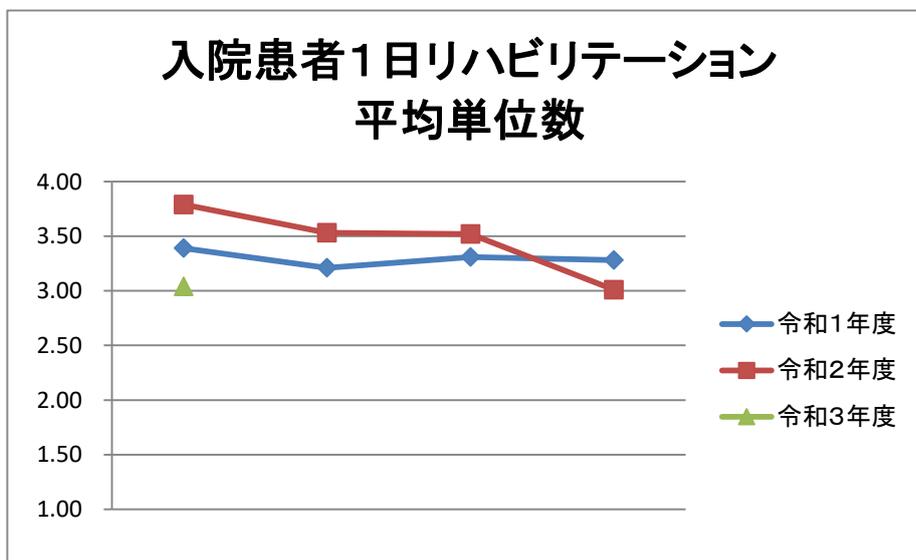


## 13. 入院患者1日リハビリテーション平均単位数(障害者施設等病棟)

入院患者1人あたりに行う1日のリハビリテーション実施単位数の平均を示します。

式)入院患者1日リハビリテーション平均単位数 = 総合単位数 ÷ 総合人数 (単位)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年間
令和1年度	3.39	3.21	3.31	3.28	3.30
令和2年度	3.79	3.53	3.52	3.01	3.46
令和3年度	3.04				



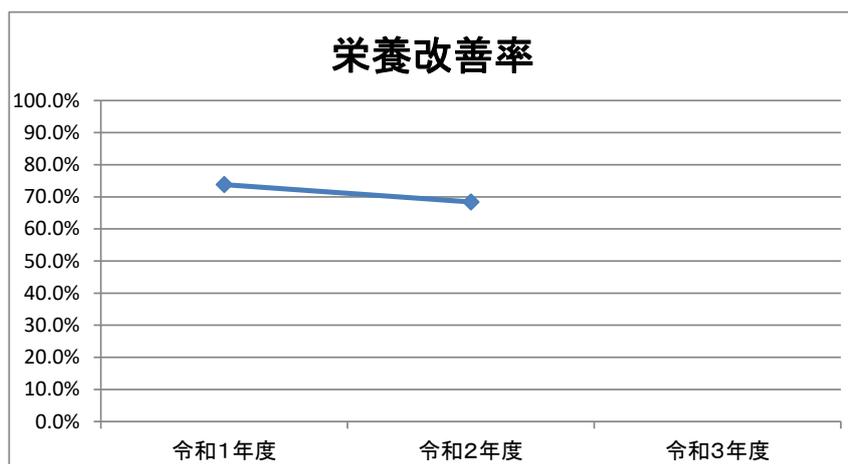
#### 14. 栄養改善率(障害者施設等病棟)

当院では、全ての治療法の基盤である栄養管理の重要性を病院全体に根付かせること、また、治療やリハビリテーションの効果が上がる正しい栄養管理を実践することを目的として栄養不良者を対象に週1回、NSTラウンドを行っています。

※NST=nutrition support team(栄養サポートチーム)の略。医療機関で患者さまの栄養管理を行う専門組織です。医師・看護師・管理栄養士・リハビリテーション部門等、様々な職種が参加し、患者さまの栄養状態の把握や栄養剤投与方針の決定などを行います。

式) 栄養改善率 = 栄養状態改善者 ÷ 栄養不良者 (NST介入者) × 100 (%)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度
栄養改善率	73.8%	68.4%	



#### 15. 経口摂取移行率(障害者施設等病棟)

経口摂取(口から食べる)には栄養・水分補給だけでなく、食べるという行為が楽しみや癒しにつながり、QOL(quality of life=生活の質)を向上させるというメリットがあります。

当院のNST連携チームのひとつに摂食嚥下チームがあり、摂食嚥下障害を持つ患者さまに適切な訓練を実施し、経口摂取を可能にすること、全身状態の回復とQOLの向上を図ることを目的に活動しています。

式) 経口摂取移行率 = 経口摂取移行患者数 ÷ 摂食嚥下障害を持つ患者数 (摂食嚥下チーム介入者) × 100 (%)

	令和1年度	令和2年度	令和3年度
経口摂取移行率	8.0%	11.8%	

